

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
ビジネストレーニング 2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	本多 功一			実務 経験	有	職種	舞台監督、コンサート制作				
授業概要											
この授業では日常で起きている事象の中で、就職活動や卒業後の社会などに関わることを逐次取り入れ、その解説を加えていく。社会人スキルの獲得を目指していく。											
到達目標											
目的を達成するために社会人として企業からどのようなことが求められているのか、知識だけではなく具体的なスキルとして読み書きをはじめ考え方を理解すること、仕事に従事するために自分の特性を自分自身が理解すること、一社会人として生活をしていくための税制上のルールや関わる法律について理解する。大人としての日常生活や一般教養・一般常識を確認して理解することなどを目標とする。											
授業方法											
日常で起きている事象の中で、就職活動や卒業後の社会などに関わることを逐次取り入れ、その解説を加えていく。学生が社会に出たときに自分らしい考え方を構築し、多くの選択肢の中から適切な判断を下していけることを目標とする。知らなかったでは済まないことや、知っておくことで得をすることなどの情報を提供し、そこで判断をしていくための力を養成していくこと、つまり社会人スキルの獲得を目指していく。											
成績評価方法											
＊授業目的を反映した試験により点数により評価をする											
履修上の注意											
就職活動や卒業後の社会などに関わる要素が多いため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
必要に応じて資料を配布する。毎回前回講義のまとめを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	住宅の基礎知識：一人暮らし、礼金、敷金の変換など、不動産の基礎知識を理解する										
第2回	就職活動3：業種別の志望動機例から就職活動がうまくいっていない学生を主に確認していく										
第3回	危険な薬物：ドラッグの危険性について、医師や更生施設のコメントを紹介する										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
コンサート・イベント科	
ビジネストレーニング 2	
第4回	新聞：新聞から得られる情報について理解する
第5回	社会の仕組み3：トラブル対処と解決方法として、内容証明郵便、少額訴訟、和解斡旋の機関などを理解する
第6回	ビジネスマナー：接客時の対応、優先席次などを確認していく
第7回	命について：他殺や自殺など、命の重みを紹介していく
第8回	保険の仕組み：保険の種類から年齢に沿っての商品を紹介し、理解する
第9回	教育の歴史と仕組み：将来的に家族という社会を形成するしないに関わらず、教育についての基礎知識を得る
第10回	税金の仕組み：将来フリーとして、また納税の義務に基づき支払う税金について理解する
第11回	身近なルール2：相続など避けられないルールについて、基礎的な知識を得る
第12回	ストレスマネジメント：避けられない現在社会でのストレスを自分でコントロールする事例を紹介する
第13回	日本の歳時記：社会人として知っておきたい日本のしきたりや風習などを理解する
第14回	仕事をする事：いろいろな社会人のコメントから、社会での希望を探してみる
第15回	総まとめ：社会人として知っておくべきことを中心にまとめる、社会で生きていくための要素を考察する